

平成30年度
事業報告書

社会福祉法人 山口県共同募金会

〈はじめに〉

72回目を迎えた共同募金運動は、中央共同募金会が策定した70年答申を踏まえて本会が策定した「共同募金の運動性の再生10年方針」の取組を実施する最初の年となりました。

方針に掲げる「共感できる募金の推進」では、既存の募金手法の活性化や福祉教育などに取り組み、「地域ニーズを反映した助成の確立」では助成団体からの発信の強化や配分委員会による適正な審査等を行うとともに、「参加と協働による組織運営の確立」では県社会福祉協議会との連携の強化や地域助成財源の確保などを図ったところ です。

こうした中、平成30年度共同募金については目標額を3億7,254万円余とし、これを目標に各市町共同募金委員会と連携して取り組んだ結果、3億5,032万円余の実績を上げることができ、特にNHK歳末では前年度実績を上回る結果となり、地域配分では受配希望者のご要望に応えることができました。

また、昨年の「山口県平成30年7月豪雨災害義援金」募集では、本会に3,684万円余、中央共募や日赤等に寄せられた義援金を合わせると全体額は5億33百万円余となりました。ご協力いただいた皆様に、心からお礼を申し上げます。

本会では、今後とも、「じぶんの町を良くするしくみ。」である共同募金運動を積極的に推進し、地域福祉の増進を図っていきたいと考えておりますので、引き続き皆様の積極的なご支援・ご協力をお願いします。

1 募金運動の推進

地域福祉の増進を図るため、既存の募金手法の活性化を図るとともに、新たな募金手法の実施や共同募金の積極的なPRを進めた。

(1) 既存の募金手法の活性化

① 戸別募金 実績：1億8,676万円余（前年度：1億9,118万円余）

市町共同募金委員会の取組を支援するとともに、各種メディアを活用した広報活動を行った。

▽ マスコミへの資料提供

▽ 市町共同募金委員会への募金資材の斡旋

② 法人・職域募金 実績：4,065万円余（前年度：3,896万円余）

法人・職域募金を呼びかけるとともに、募金百貨店プロジェクトについては、必要な見直しを行った。

▽ 市町共同募金委員会との役割分担による働きかけの実施

▽ 募金百貨店プロジェクト参加企業の企画の見直しや関係性の再構築

③ 街頭募金・イベント募金

実績：1,317万円余（前年度：1,260万円余）

企業等と協働した街頭募金・イベント募金を実施した。

▽ 企業等と協働した街頭募金の実施

▽ 市町共同募金委員会への募金資材の斡旋

④ NHK歳末たすけあい 実績：718万円余（前年度：711万円余）

NHK歳末たすけあい募金の充実を図るための取組を実施した。

▽ NHKへの取組強化への働きかけ

▽ 共感の得やすい助成先の検討と広報の実施

(2) 新たな募金手法の実施

① テーマ募金 実績：497万円余（前年度：506万円余）

寄付者に対して用途を明確にした赤い羽根テーマ募金を推進した。

② 募金百貨店プロジェクト 実績：841万円余（前年度：817万円余）

“寄付つき商品・企画”を販売し、売上の一部を赤い羽根共同募金に寄付する募金百貨店プロジェクトに取り組んだ。

② 羽毛プロジェクト 実績：72万円余（前年度：0）

不用になった羽毛製品を回収し、再生業者に引き渡した。

(3) 運動推進のための取組

① 寄付文化の浸透

赤い羽根を活用した福祉教育に取り組んだ。

▽ 県立大学生による赤い羽根を活用した福祉教育の実施（2市、3校）

② 赤い羽根のPR

様々な面で赤い羽根が目に見える環境づくりに取り組んだ。

▽ 赤い羽根オープニングイベントの実施（10月1日、ゆめタウン山口）

▽ 寄付金贈呈式や助成交付式などを活用したPR

▽ 地域住民と接する機会の多い業種の方への赤い羽根の着用の働きかけ（金融機関、マスコミ）

▽ オリジナル赤い羽根募金バッジの配布（レノ丸・カープ坊や）

▽ 山口県共同募金会パンフレットの作成

③ 遺贈・相続寄付の取組強化

▽ 中央共同募金会によるパンフレットの作成

2 地域ニーズを反映した助成

地域ニーズを的確に把握して助成を行うとともに、使途の明確化を図った。

(1) 県域助成

県域の福祉ニーズの的確な把握に努め、適切な助成を行った。

▽ 助成先公募のマスコミへの発表やホームページへの掲載等

▽ 県社会福祉協議会の福祉の輪づくり運動と連携した助成

助成額：3,599万円（前年度：3,462万円）

助成先：33団体、43件

・現地調査：8件 ヒアリング：26件

(2) 地域助成

小地域福祉活動（地区社会福祉協議会、自治会等）への助成を行うとともに、新たな地域課題を踏まえた活動への助成を促進した。

実績：1億6,020万円余（前年度：1億6,153万円余）

▽ 歳末たすけあいの助成先の明確化の促進

実績：8,040万円余（前年度：8,043万円余）

▽ 公募の実施の促進

(3) 使途の明確化

共同募金の使途が寄付者に明確に伝わるよう、取組を推進した。

▽ 助成先からの「ありがとうメッセージ」の取組の強化

▽ 公募助成等による透明性の確保及びPR

3 組織運営の確立

本会の適切な運営を図るため、理事会等を開催するとともに、共同募金運動の推進を図るために市町共同募金委員会と緊密に連携して取り組んだ。

(1) 理事会等の開催

▽ 理事会（3回）、評議員会（3回）及び配分委員会（2回）の開催

(2) 市町共同募金委員会との連携

▽ 事務局長・担当者会議の実施 2回

▽ 共同募金運動推進強化特別支援事業の実施

- (3) 県社会福祉協議会の意見を反映できる協議の場の設定
▽ 福祉の輪づくり計画に基づく県域助成事業の一括ヒアリングの実施

4 その他の取組

- (1) 災害等準備金の積立
▽ ボランティアセンター設置支援に向けた災害準備金の積立（1,000万円）
- (2) 災害等準備金取崩金による助成
県内の子ども食堂に対して助成を行った。
実績：4件 26万円余
- (3) 災害準備金の拠出
「山口県平成30年7月豪雨災害」による被災地を支援するためのボランティアセンター設置等に要する経費に対して助成を行った。
実績：4件 649万円
- (4) 災害義援金の募集
▽ 「山口県平成30年7月豪雨災害」義援金の募集
実績：3,634万円余（全体：5億3,374万円余）
- (5) 被災者への見舞金の支給
▽ 県内の火災等の被災者に見舞金を支給
実績：169万円
- (6) 受配者指定寄付金
▽ 税制の優遇措置が受けられる受配者指定寄付金の取扱いの実施
実績：2件 976万円余
▽ ホームページによる広報
- (7) 民間資金による助成事業への協力
▽ （公財）毎日新聞西部社会事業団からの義援金による助成
実績：1件 10万円
▽ アサヒ飲料「子どもたちの明るい未来づくり基金」協働プログラム助成
実績：3件 40万円

▽ 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業への推薦

実績：4件 553万円

▽ 車両競技公益資金記念財団助成事業への推薦

実績：7件 270万円余

5 共同募金協力者に対する顕彰

(1) 厚生労働大臣表彰（1団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕団体	美祢市母子寡婦福祉連合会	美祢市	11月22日 ・全国社会福祉大会 (メルパルクホール)

(2) 中央共同募金会会長表彰（3人、1団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕功労者	中山博之	防府市	11月22日 ・全国社会福祉大会 (メルパルクホール)
	佐子吾郎	〃	
菊本涼子	下松市		
優良地区団体	平生町共同募金委員会	平生町	

(3) 山口県知事表彰（3人、2団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	村田一男	宇部市	10月31日 ・山口県総合社会 福祉大会 (萩市民館)
	佐伯泰司	萩市	
	佐子吾郎	防府市	
奉仕団体	和木町老人クラブ連合会	和木町	
	山口県漁業協同組合宇田郷支店	阿武町	

(4) 山口県共同募金会会長表彰（28人、11団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	井原八郎	宇部市	10月31日 ・山口県総合社会 福祉大会 (萩市民館)
	大久保正勝	宇部市	
	福田幸三	宇部市	
	中西和男	宇部市	
	中島勝行	宇部市	
	溝部憲男	宇部市	

	平川悦士 千國一 室重守 笠井泰孝 松山久則 山本憲二 平田美知子 小林正史 秋尾護 松村茂彰 山邊正博 福田勝正 山田如仙 池田勝利 秦哲夫 歳弘克史 栗崎良忠 渡邊茂二 國弘研一 浅田信子 角井武彦 山本金生	宇部市 宇部市 宇部市 宇部市 宇部市 萩市 萩市 萩市 萩市 防府市 防府市 防府市 防府市 防府市 防府市 防府市 防府市 防府市 防府市 防府市 防府市 防府市 下松市 下松市 下松市	
奉仕団体	ボランティアグループ 七人会 周南市老人クラブ連合会 日本ボーイスカウト山口県連盟 徳山第1団 日本ボーイスカウト山口県連盟 徳山第4団 一般社団法人 ガールズスカウ ト山口県連盟山口県第3団 周南市立沼城小学校 特定非営利活動法人周南のぞみ 会障害福祉サービス事業所望み の家 日本化学工業株式会社徳山工場 太華工業株式会社 徳山ダンススクール 阿武建設(株)	岩国市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 周南市 阿武町	

